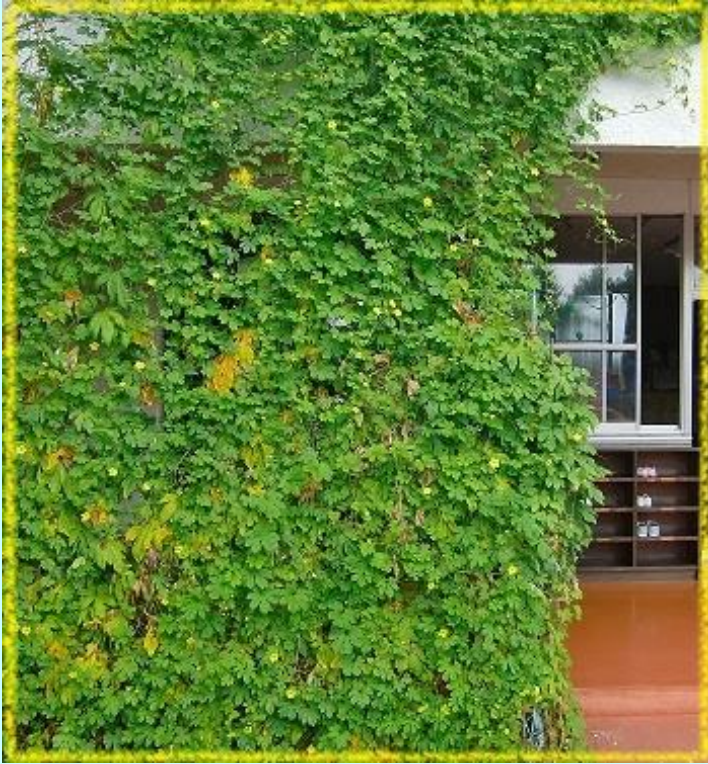


緑のカーテン取り組み情報



お名前	川口学園 竜王幼稚園(甲斐市)		
育てた植物の種類	ゴーヤ・キュウリ		
設置場所	保育室前のテラス・バス車庫側面		
カーテンの大きさ	(保育室前のテラス) 高さ: 約 3.5 m, 幅: 約 2.5 m	取り組み年数	4年目

緑のカーテンの効果

テラスへの日当たりを緩和し、照り返しを防いで周辺の温度を下げるすることができます。アリ・ミツバチ・チョウ・ダンゴムシ・ミミズ・ナメクジ…いろいろな生き物が集まり、なかでもカマキリは毎年のように棲みつきます。はじめは怖がっていた子ども、そのうちすっかり仲良しになって手にのせて遊びます。

「飼育」ではなく、自然の中でありのままの虫の姿や営みを観察できる — 子どもがいる環境だからこそ！の一つの大きな魅力ではないかと思います。

育てる際の工夫・苦労

毎日朝夕、土の乾湿に気を配りながらの水やりを、子どもも自ら「やりたい！」と手伝おうとします。柵から離れた蔓は補助して柵へ戻します。また、タイミングをみて肥料を与え、株の健康を保ちました。

ゴーヤとキュウリを並べて育て、“くらべっこ”ができるようにしました。葉の形や質感、実の形や匂いや様子、色の違い、などに気づいて教えてくれます。例えば、キュウリの葉っぱはジャワジャワで毛がいっぱい、ゴーヤの実の色が変わって割れると種がこぼれ落ちる…等いろいろな発見があります。

感想・楽しみ方など

甲斐市の南部公民館まつりからお話をいただき、園児たちの作品を会場に飾っていただきました。その一つに年少児クラスが「ゴーヤの緑のカーテン」を表現しました。葉を手のひらで、実のゴツゴツ感是指先を使って水彩絵の具でペインティングし、みんなでひとつの大きな作品に仕上げました。